

Around シアトル



September-2006

シアトル



ラコーナー La Conner

春になると、まるで一面に敷き詰められたカーペットのように、色とりどりのチューリップで埋め尽くされるのがラコーナー。オランダと似通った土壌と気候を持つため、1906年にチューリップの球根の植え付けが始まりましたが、

この成功を聞きつけたオランダからの入植者が次々に栽培を開始しました。今では本場オランダへも逆輸入され、日本へも輸出されています。

ラコーナーは火山灰に特有な土壌を持ち、各種の農産物が産出されるほか、酪農も盛んです。田園ののんびりとした風情の中、放牧された牛がゆっくりと草をはんでいきます。

沿岸沿いへと向かったラコーナーのダウンタウンは、ギャラリーや工芸品の店、アンティークショップ、カフェが所狭しと建ち並ぶアーティストたちの町。

チューリップのシーズンでなくても、楽しめます。

スノクォルミー・フォールズ Snoqualmie Falls
人気テレビ番組「ツインピークス」で一躍有名になったスノクォルミー滝と近郊の町ノースベンド (North Bend) ですが、ブームがすっかり去っても、その滝の美

しさと親しみのもてる小さな町は未だに観光客を引きつけています。滝の傍らに建つサリッシュ・

ロッジを背景に、迫力満点の滝の落ちる音を聞きながら記念の一枚をパチリ。ノースベンドの町でアンティーク屋を冷やかしてみるのもいいかもしれません。

アウトレット・モールをお見逃しなく。シアトルから90号線を車で東へ45分、ノースベンドのExitで降ります。その先にはスキー場もあり、

シアトルから一番近いスキー場として、人気です。バスでは、ダウンタウン2ndアベニューから#215、Issaquah Park & Ridaで、#209に乗りかえ。

サンファン諸島 San Juan Island

パシフィック・ノースウエストへの旅行の醍醐味のひとつといえば、フェリーに乗っての島から島へのアイランド・ポッピング。

シアトルからピュージェット湾をカナダ国境まで近づいた付近に無数の島が浮かんでいます。本土のアナコーテス (Anacortes) から出発するワシントン州フェリーで、サイクリングにぴったりのロペス・アイランド (Lopez Island)、宿泊施設の揃ったオーカス・アイランド (Orcas Island)、シャチの見られることで有名なフライデー・ハーバー (Friday Harbor) と、大小様々な島へ車

と一緒に気軽に渡ることができます。フェリーから地元の人々が水島に囲まれながら、

ぽっかり浮かぶ緑の島々の間をぬってカヤックやボートで渡る姿が見られる事でしょう。

ワシントン州フェリーの他にダウンタウンのウォーターフロントから出発するピクトリア・クリッパーも利用できます。

セント・ヘレンズ山 Mt. St. Helens

セント・ヘレンズ火山の大噴火が起き、近隣の町を灰で覆い、真夜中のようにした時からすでに18年。見渡す限り一方向になぎ倒された木々、

そこから生命の息吹がひっそりと目覚めだす姿。今セント・ヘレンズ山は一步一步着実に復元しています。レニア山に対し、噴火前のセント・

ヘレンズや山はすっきりとした風貌を持ち、かつてその姿は富士山にそっくりだったと言われています。今ではぽっかりと聞いた噴火口によって、

すっかりもとの姿を変えてしまいましたが、今までなかった鏡のようなコールド・ウォーター・レイク (Cold Water Lake) などが訪れる者の目を奪います。